ひかりのこ

5月園便り

聖ミエル幼稚園
2019年5月19日

月主題：見つけたよ

『幼稚園と手をつなごう』

入園式が終わり、いよいよ年少のこすもす組さんは、お母さんと離れての幼稚園生活がスタートしました。玄関でお母さんと離れられないお子さんもいますが、先生の説得（？）に応じ、何とか二階に上がっていけるようになりました。目に涙をためながら、先生の手を握って。小さいながらに自分がどうしなければいけないかを、自分で決めて、行動していく。なんともけなげで、私は心の中で、「頑張れ、頑張れ」と応援しています。

保護者の皆さんも、やっと自分の手からお子さんが離れていく身軽さと、寂しさが入り混じっているのではないでしょうか。これからは、幼稚園の時間は、お子さんを手から離して、後方からお子さんを応援していただきたいと思います。

応援の仕方はいろいろあります。朝ごはんをしっかり食べて、排泄を済ます、お子さんが困らないよう忘れ物がないか気を配るなど、**お子さんの生活を整えること。**幼稚園から帰ってきた**お子さんを温かく包んであげること。**（集団で生活することは、楽しいけど子どもながらに結構大変なんですよ。）そして、ぜひお願いしたいのが、**幼稚園の行事にできるだけ参加して、幼稚園の私たちと一緒にお子さんを育てようと努めることです。**

最近、お仕事をされている方が増えてきましたが、お仕事をしていても幼稚園や学校の行事に積極的に参加していくことは、お子さんを育てていく上でとても大切なことです。お子さんの幼稚園の生活がわかり、幼稚園の保育方針も理解していけるからです。また、しょっちゅう他の保護者の方や幼稚園の職員と顔を合わせ、子どもたちの近くにいることが、幼児期には特に大切なのではないか、と思うのです。自分のお父さんお母さんが、他のお父さんお母さんや、先生たちと仲良くしている姿は、お子さんがお友達と仲良くする良いモデルになります。お父さんお母さんは、ちっともお友達と仲良くしていないのに、お子さんに「お友達と仲良くしなさい。」では、良いモデルとは言えません。現に、お仕事をなさっていても、色々なご事情があっても、役員を引き受けてくださったり、様々な活動に参加してくださったりするお父様、お母様方が、聖ミカエル幼稚園にはたくさんいらっしゃいます。

わたしと夫は３人の子どもを育てましたが、できるだけ保育園や学校の行事には時間を作って参加するようにしていました。娘が小学校６年生の時には、私が学級代表の補佐をして、クラスのお母さんたちと「お別れ会　親子レク」を運営したことがあります。お母さん方は、私のためにわざわざ夕方会議を開いてくださって、みんなととっても仲良くなりました。夫は学童保育所の父母の会会長を何年もやりましたし、私も次男の剣道会の会計や、町内会の子ども会の役員をやっていました。自分の状況を話し、理解してもらえば、色々なことができるのだなあ、とその時感じたものです。職場にも理解してもらい、周りに迷惑をかけない範囲で年休をもらったりして、子どもたちを育ててきました。気持ちさえあれば、色々なことができるものです。

お子さんはあっという間に大きくなってしまいます。お子さんのために何かできるのは、今だけです。せっかく授かったお子さんとの生活。大切に大切にお子さんに寄り添って、お子さんを第一に考えて過ごしていただきたいと思います。幼稚園の私たちと手をつないで、子どもたちを大切に育てましょう。

園長　渡部　良子

キリスト教保育

「復活-闇を打ち破る力」

以前、教会では中高生の夏期キャンプを行っていました。多くの子どもたちが集まって、自然の中で過ごします。夜には必ずキモ試しをします。私たち大人のスタッフが怪談話しをし、少し怖くなったところで、3人一組で真っ暗な道を恐る恐る進んで行きます。途中、スタッフが暗闇に隠れていて、子どもたちが近づくと、突然現れて脅かすという、典型的なキモ試しです。

ところがです。実はキモ試しというのは、脅かし役の大人の方がはるかに怖いのです。真っ暗な草藪に長時間、一人で隠れて誰かが来るのを待っています。すると、誰もいないはずなのに後の方で草がザワザワ動いて驚いたり、蚊に刺されたりで、大変な思いをします。子どもも大人も、恐怖の元は「闇」なのです。

4月21日、教会は最大の祝祭である復活日（イースター）を祝います。復活とは、イエス様が葬られて3日後の日曜の朝、墓を塞いでいた大きな石が外され、からっぽになっていたことに始まります。真っ暗闇の墓穴をイエス様は内側から打ち破り、復活したことを祝うのです。闇とは、時には災害や病気、不慮の事故などの姿で現れ、恐怖と不安をもたらします。あるいは私たちの心の中にもあって、自分自身や他の人を傷つける、やっかいな存在です。その闇の力をイエス様が打ち破り、私たちを癒すのです。復活を信じる時に、光が闇の力を奪い去ります。幼稚園に集う全ての子どもたちが、復活のイエス様に守られて成長できますように、お祈りいたします。

チャプレン　司祭　下澤　昌